

2022年2月9日

各位

会社名 株式会社 音 通

代表者名 代表取締役社長 岡村 邦彦
(コード番号 7647 東証第二部)

問合わせ先 代表取締役副社長 仲川 進
(TEL 06-6372-9100)

特別損失（減損損失）の計上、特別利益計上額の変更及び
業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第3四半期決算におきまして、下記の通り特別損失（減損損失）を計上すると共に、2021年8月27日に公表しました特別利益の計上額に変更が生じた為、2022年3月期の通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

スポーツ事業部門において、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収益性の低下した施設の固定資産について、減損損失174百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 特別利益の金額の変更について

関係会社株式売却益として707百万円を見込んでおりましたが、当第3四半期決算の過程で改めて精査したところ計上額が468百万円となりましたので変更いたしました。

3. 通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	7,980	24	2	303	1.49
今回修正 (B)	8,085	106	86	120	0.59
増減額 (B-A)	105	82	84	△183	—
増減率	1.3%	341.7%	420.0%	△60.4	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	13,027	267	232	43	0.22

4. 修正の理由

売上高は、当第3四半期連結会計期間に食料品・生活雑貨小売事業から撤退したことによる減少はあるものの、新型コロナウイルスの感染状況が鎮静化したことなどから、カラオケ関係事業とスポーツ事業の売上が共に堅調であり、概ね業績予想通りで推移しております。

営業利益と経常利益は、カラオケ関係事業とスポーツ事業における原価管理の徹底と経費の抑制効果などにより、業績予想を大幅に上回る見通しとなりました。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記のとおり減損損失の計上と特別利益計上額に変更があったことから、業績予想を下回る見通しとなりました。

なお、配当予想につきまして修正はございません。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上